
えっちな三角関係

まぁみん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

えっちな三角関係

【Nコード】

N7683I

【作者名】

まあみん

【あらすじ】

三角関係。

結構ドロドロ。

エロいです。

苦手な方は見ないほうがいいと思います。

初めての快感

「真実？」

今日も幼なじみの敦が私の家に来ている。

別に付き合ってるわけじゃない…ただ敦は私に勉強を教わりにきてるだけ。

私は好きだけど…

敦には彼女がいるんだもん…

「ねえ真実ってば！！」

「あつ、ごめん。何？」

「あのさ。ここわかんない」

「あーうん……」

毎日込み上げていく想い。

「今日、もう帰って。」

「?どうしたん?」

バカッ。あんたが…

私を困らせてんのよ…

勉強…教える気になんてなんないよ…

「ごめん。お願い」

本当はこの想いを伝えたい

だけど彼女…亜由美は私の親友だから。

裏切ることなんてできないんだ。

「……わかった。また明日くるから。」

「ごめん……」

ぱたんっ

ポロッ

込み上げるこの感情。

声をこらして泣いた。

「うつぐ……ふっ……うつっ」

ガチャッ

「真………実？」

「……！見ないでっ！帰ってっと言ったじゃん！バカ敦！」

「ごめん……忘れ物……」

「……………」

顔がぐちゃぐちゃになって頭がボーツとしていく。

「真実…どうしたん？まじで…」

「早く出てっ！」

真実は近くにあった枕を敦になげつけた。

「真実っ！！」

「帰ってよ」

「真実ってばっ！！」

「帰って！！」

「真実っ！！話し聞け！」

強い口調で言った。

真実はびっくりして言葉がでなかった。

「顔見せて。」

「いやだあ」

ぐいっ

敦は真実の両手を掴んで ベッドに押し倒した。

「顔ぐっちゃ」

「うるさい！見んなっ！」

「無理。」

敦が今顔のまえで…
私の唇に触れた。

私は敦に甘えた。

感情が抑えきれなくなっていた。

「ねえ…真実…昔みたいにあっちゃんって呼んでよ…」

敦が首にキスしたり首を指で触ったりする。

それが耐えられない…

「あっ…んー…あっちゃん…」

「真実って昔から首弱いよね」

ちゅっ

「はぁっ…んんー…」

敦が何度もキスをする。

「あっ…ちゃんっ…あっちゃんっ…んっ…!」

「真実すげー可愛い。」

口のなかに敦がはいってくる。

「あっちゃんってもっと呼んで…」

「あっちゃんっ…ふっ…ん」

「真実…」

服のなかから背中を触り、下着を外し胸を触る。

その時思い出した。

敦には彼女がいること。それも私の親友ということに…

ドンッ

「なっ…すんのよ…」

「俺…真実が好きなんだ」

ドキッ…

「あっ 亜由美がいるじゃんっ!!」

「お前を忘れようとして亜由美と付き合ってたけど無理だったから…別れた。本当ずっとなんか好きだった。」

別れた…なら私には罪がないのかな…敦が好きすぎて私は…

「私も好き……。」

「何？あっちゃんって言うてくれなきゃだ（笑）」

「私もあっちゃんが好き」

「俺も真実が大好き」

そういつて唇に敦が触れた

口のなかを敦に支配される

「あっちゃんっ…大好き」

敦の手が私のアソコにのびる。

下着の上からアソコをさする。

「あっ…んんっ…」

声がもれる。

「真実可愛い…真実は初めて？」

「敦はどうなのよっ！」

「俺…？したよ？」

私だけなんだ。初めては。
ずきんっ

「わっ私だって初めてじゃないしっ…！」

強がった。

「ふーん。もう俺以外に抱かせちゃだめだよ」

パンツを指でめくり
そこから指をアソコにいれる。

びくんっ

「あっ…あんっ……んんっ！」

体が敏感に反応する。

ぐちょっぐちょっ。敦の指が激しく動いていく。

「うっ… ああんっだめえ…！！ああああー！」

びくっびくっ…

初めての快感…
気持ちいい…

「はぁ… はぁ… ……」

「真実。イっちゃったね」

「はぁっ… はぁ… うんっ」

「今度は俺も気持ち良くさせてよ。」

敦は自分のアソコを持って真実のアソコにいった。
にゅるっ

ズキッズキッ！！！！

「っ……」

痛いっ…

何コレ…

敦がゆつくりと動き始める。
動くたびにズキズキする。

あまりの痛さに涙がでる。

それに気付いた敦は
自分のアソコをぬいた。

「痛かった？」

「ごめん。私…本当は初めてなの」

「気付いてた（笑）」

「ひどいっ！！」

「優しくするよ。」

といい、また自分のアソコを持って真実のアソコに入れた。

「はあっん……」

敦は真実の胸を揉んで
真実を感じさせた。

「あっ…んんっ！あっ…ちゃん…私達…んっあっ！繋がって…っるんだね」

「そうだよっ…真実のなか気持ちいいよっ…」

部屋中に水音が鳴り響く。ぐちよっぐちよっ
「私もっ…いきそうっ」

「俺もイク…!!」

腰の振るはやすが早くなっていく。

「なかに出してっいい?」

「あっん…平気だよっ…安全日だから…」

「イクッ！！！」

「あんっ！あっあっんっんうっ！！あああああ！！！！」

ドピュッドピュッ

「なんか…あたたかい…あっちゃんの入ってくる…」
敦はアソコを真実のアソコからぬいた。

にゅるっ

「はあっん！！」

「真実、可愛い。」

その言葉に私は溺れていた

亜由美のことを忘れて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7683i/>

えっちな三角関係

2010年10月11日16時58分発行